

● サシバの生活について

みなさん見てください。南西方向に 20 数羽のヒヨドリの群れが飛んでいきます。
9 月下旬から 10 月中旬は渡りの最盛期です。
ヒヨドリもサシバも渡りをします。

サシバは千葉県のレッドリストで絶滅危惧Ⅰ類の最重要保護生物 になっていて、年々減少しています。原因の多くは圃場整備をはじめとした里山環境の悪化です。
しかしここ岡発戸の谷津では昨年春にもサシバが見られるようになりました。

減少しているサシバが、どうして見られるようになったのか考えてみてください。



参考：秋のヒヨドリの渡り(富津岬で撮影)



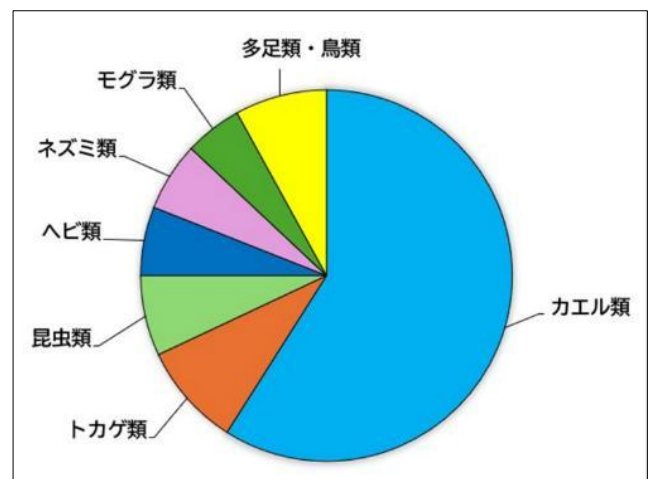
参考：サシバ(谷津ミュージアムで春に撮影)



ヒントとしてサシバの食性について考えてみましょう。

サシバは主にカエル、ヘビ、トカゲ、大型昆虫を食べています。

答えがひらめいた人もいると思います。第 1 回の観察会で浅間先生がヌマガエルの増加について話してくれました。ヌマガエルは本州西部から人為的に移入された国内外来種ですが、岡発戸の谷津でここ数年急増したのでサシバが定着できたと考えられます。



サシバの食性 「オオタカ保護基金・サシバの生態」より

本州で繁殖したサシバは、この後四国・九州を通して南西諸島や東南アジアで越冬していると考えられています。

千葉県では富津岬から三浦半島へ渡っていくようすがよく知られています。（越川重治）